

第2章 医療施設調査・病院報告

1 施設数

令和5年10月1日現在の病院数は46施設（精神科病院9施設、一般病院37施設）で、前年と同数であった。一般診療所は689施設で、前年に比べ18施設減少した。病床の有無でみた一般診療所数は、前年と比べて有床が1施設、無床が17施設それぞれ減少した。歯科診療所は251施設で、前年と同数であった。（表3-1）

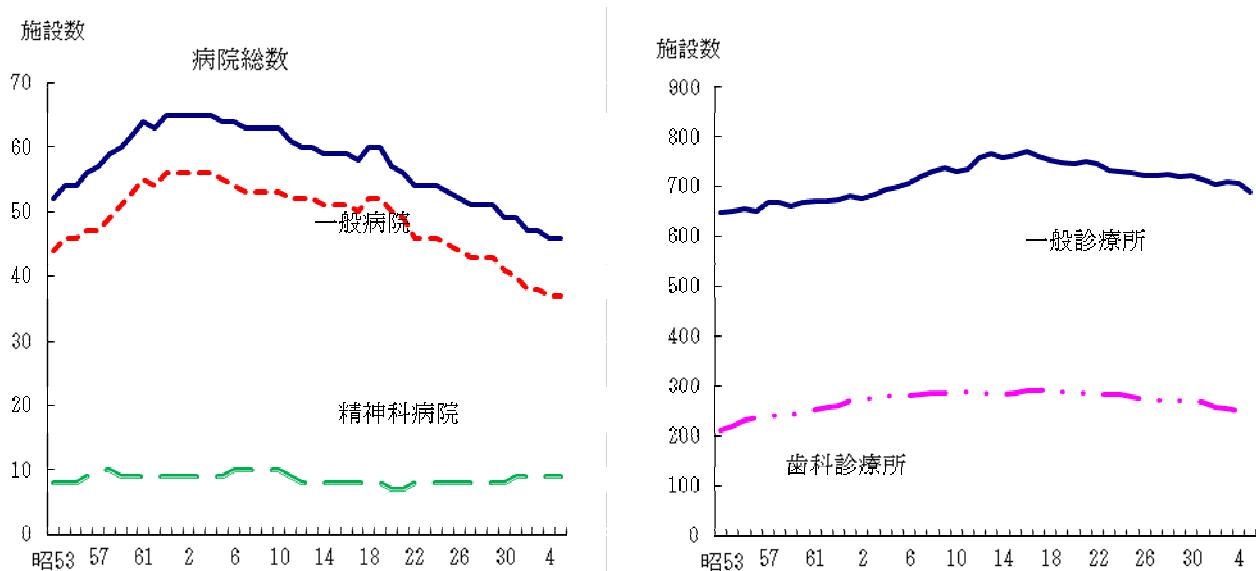
表3-1 医療施設の種類別にみた施設数

	施設数			構成割合(%)	
	令和5年	令和4年	増減数	令和5年	令和4年
総数	986	1,004	△ 18	100.0	100.0
病院	46	46	-	4.7 (100.0)	4.6 (100.0)
精神科病院	9	9	-	(19.6)	(19.6)
結核療養所	-	-	-	(-)	(-)
一般病院	37	37	-	(80.4)	(80.4)
一般診療所	689	707	△ 18	69.9 (100.0)	70.4 (100.0)
有床	37	38	△ 1	(5.4)	(5.4)
無床	652	669	△ 17	(94.6)	(94.6)
歯科診療所	251	251	-	25.5	25.0

注：（ ）内の数値は病院、一般診療所の総数を100とした場合の構成割合である。

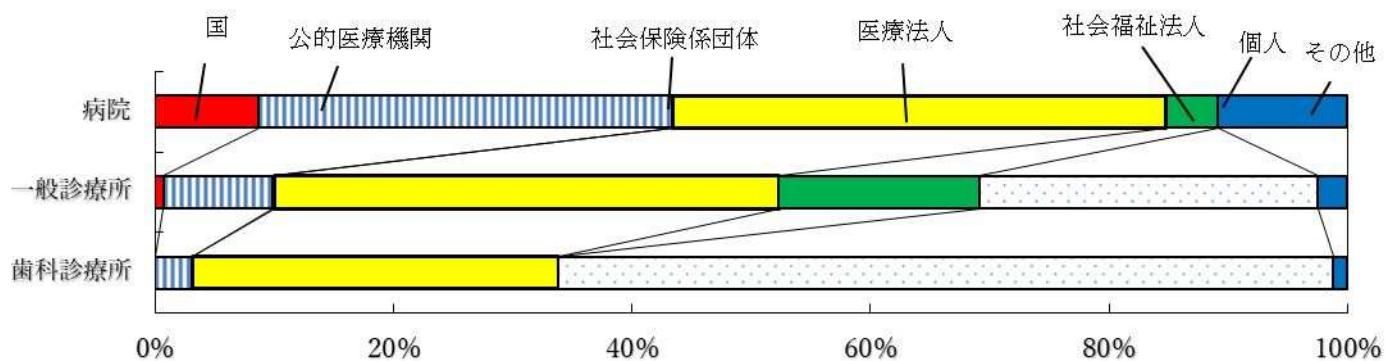
病院数の年次推移をみると、一般病院は昭和61年までは年々増加していたが、昭和63年から平成4年をピークに、緩やかな減少傾向にある。精神科病院数は7～10施設で横ばいに推移している。一般診療所は平成16年までは緩やかな増加傾向にあったが、平成17年から減少傾向にある。歯科診療所は、緩やかな増加傾向にあったが平成18年をピークに減少に転じている。（図3-1）

図3-1 医療施設数の年次推移



医療施設の開設者割合をみると、病院は最も多いのが医療法人の 41.3%で、ついで県、市町村等の公的医療機関の 34.8%である。一般診療所は平成 10 年には個人が 5 割、医療法人が 3 割弱を占めていたが、年々個人の占める割合が減少し、医療法人の占める割合が増加したため、平成 20 年には医療法人が個人より多くなった。一般診療所における令和 5 年の状況は、医療法人が 42.4%、個人が 28.4%である。歯科診療所は大部分が個人で、64.9%を占めており、ついで医療法人が 30.7%となっている。(図 3-2)

図 3-2 医療施設の開設者割合 (%)



人口 10 万対医療施設数を前年と比べると、一般診療所が 1.4 減少し、病院が 0.1、歯科診療所が 0.5 それぞれ増加した。全国と比べると、病院は 0.6、一般診療所は 21.6 高く、歯科診療所は 15.1 低くなっている。(表 3-2)

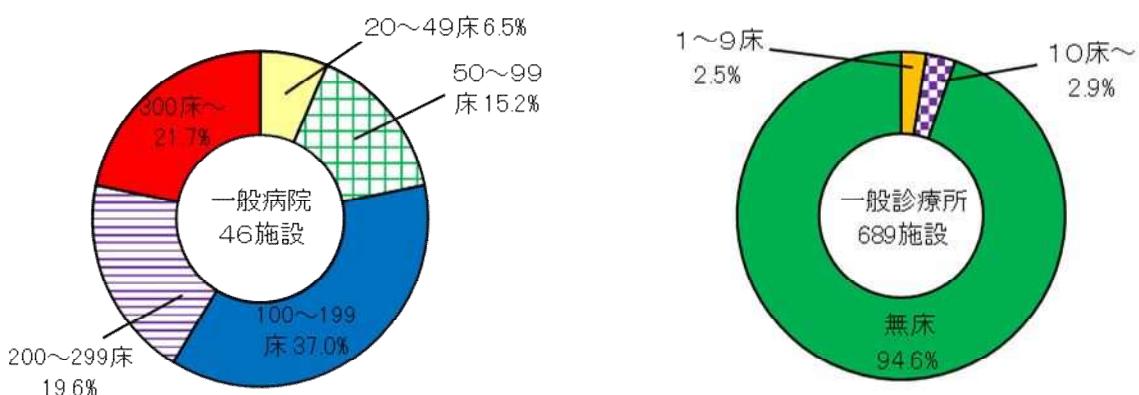
表 3-2 人口 10 万対医療施設数

	島根県		全国
	令和 5 年	令和 4 年	令和 5 年
病院	7.1	7.0	6.5
一般診療所	106.0	107.4	84.4
歯科診療所	38.6	38.1	53.7

一般病院を病床規模別にみると、20～49 床が 6.5%、50～99 床が 15.2%、100～199 床が 37.0%、200～299 床が 19.6%、300 床以上が 21.7% であった。

一般診療所は 1～9 床 2.5%、10 床以上が 2.9%、残りの 94.6% は無床である。(図 3-3)

図 3-3 一般病院、一般診療所の病床規模別割合



2 病床数

令和5年10月1日現在の病院の病床数は前年に比べ19床減少した。病床の種別にみると、療養病床が12床増加し、精神病床が22床、一般病床が9床それぞれ減少した。

また、一般診療所の病床数は前年から25床減少した。(表3-3)

表3-3 医療施設の種類別にみた病床数

	病床数			構成割合 (%)	
	令和5年	令和4年	増減数	令和5年	令和4年
総 数	10,067	10,111	△ 44	100.0	100.0
病 院	9,686	9,705	△ 19	96.2 (100.0)	96.0 (100.0)
精 神 病 床	2,231	2,253	△ 22	(23.0)	(23.2)
感 染 症 病 床	30	30	-	(0.3)	(0.3)
結 核 病 床	10	10	-	(0.1)	(0.1)
療 養 病 床	1,735	1,723	12	(17.9)	(17.8)
一 般 病 床	5,680	5,689	△ 9	(58.6)	(58.6)
一 般 診 療 所	381	406	△ 25	3.8	4.0
歯 科 診 療 所	-	-	-	-	-

注：()内の数値は病院の病床数総数を100とした場合の構成割合である。

人口10万対病床数を前年と比べると、病院では、精神病床が0.8、療養病床が5.0、一般病床が9.2増加した。

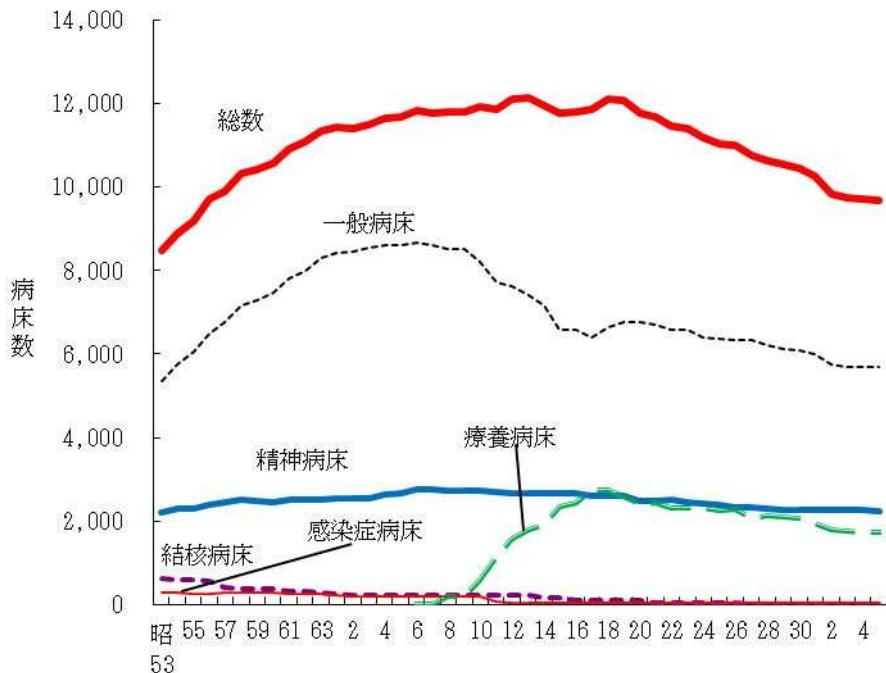
また、一般診療所は前年より3.1減少した。病院における人口10万対病床数は、全国よりかなり高くなっている。(表3-4)

表3-4 人口10万対病床数

	島根県		全国
	令和5年	令和4年	令和5年
病 院	1,490.2	1,474.9	1,191.1
精神病床	343.2	342.4	256.5
感染症病床	4.6	4.6	1.5
結核病床	1.5	1.5	3.0
療養病床	266.9	261.9	220.1
一般病床	873.8	864.6	710.0
一般診療所	58.6	61.7	60.9

病院の病床数の推移をみると、総数は緩やかな上昇傾向にあったが、平成 18 年をピークに減少に転じた。一般病床は平成 10 年以降、療養病床の増加に伴い減少傾向にある。一方療養病床は平成 8 年以降、年々増加していたが、平成 18 年の 2,740 床をピークに減少している。
(図 3-4)

図 3-4 病床の種別にみた病院の病床数



注 1：)「一般病床」は、昭和 62 年～平成 4 年は「その他の病床」、平成 6 年～平成 12 年は「その他の病床（療養型病床群）をのぞく」、平成 13・14 年は「一般病床」及び経過的旧その他の病床（経過的旧療養型病床をのぞく）である。

注 2：)「療養型病床」は、平成 12 年までは「療養病床群」であり、平成 13・14 年は「療養病床」及び「経過的旧療養型病床群」である。

3 診療科目

県内 46 施設の病院のうち、内科を持つ病院が最も多く 40 施設で、ついで整形外科が 34 施設、リハビリテーション科と脳神経内科が 30 施設となっている。令和 4 年と比べると精神科等 6 診療科目が増加し、外科等 7 診療科目が減少した。

一般診療所 689 施設のうち、最も多い診療科目は内科の 524 施設であり、ついで小児科が 132 施設、消化器内科（胃腸内科）が 121 施設、循環器内科が 89 施設となっている。令和 4 年と比べると、腎臓内科等 15 診療科目が増加し、内科等 16 診療科目が減少した。（表 3-5）

表3-5 診療科目別にみた病院数、一般診療所数（重複計上）

	病院			一般診療所		
	令和 5 年	令和 4 年	増減数	令和 5 年	令和 4 年	増減数
内科	40	40	-	524	554	△ 30
呼吸器内科	18	18	-	43	39	4
循環器内科	24	25	△ 1	89	92	△ 3
消化器内科（胃腸内科）	22	22	-	121	121	-
腎臓内科	9	11	△ 2	12	7	5
脳神経内科	30	30	-	27	28	△ 1
糖尿病内科（代謝内科）	10	10	-	20	21	△ 1
血液内科	4	4	-	3	5	△ 2
皮膚科	25	25	-	53	50	3
アレルギー科	2	2	-	40	40	-
リウマチ科	6	5	1	23	20	3
感染症内科	-	-	-	2	1	1
小児科	26	26	-	132	146	△ 14
精神科	28	27	1	55	59	△ 4
心療内科	9	9	-	43	42	1
外科	26	29	△ 3	52	62	△ 10
呼吸器外科	9	10	△ 1	-	-	-
循環器外科（心臓・血管外科）	7	7	-	1	1	-
乳腺外科	7	6	1	5	4	1
気管食道外科	-	-	-	-	-	-
消化器外科（胃腸外科）	5	4	1	5	4	1
泌尿器科	21	21	-	19	21	△ 2
肛門外科	6	5	1	12	13	△ 1
脳神経外科	13	13	-	8	8	-
整形外科	34	34	-	66	66	-
形成外科	8	8	-	12	10	2
美容外科	-	-	-	3	1	2
眼科	21	21	-	52	49	3
耳鼻いんこう科	23	23	-	26	25	1
小児外科	2	3	△ 1	3	2	1
産婦人科	15	15	-	16	14	2
産科	1	1	-	-	2	△ 2
婦人科	6	6	-	8	13	△ 5
リハビリテーション科	30	31	△ 1	52	55	△ 3
放射線科	19	20	△ 1	19	20	△ 1
麻酔科	20	20	-	11	15	△ 4
病理診断科	8	8	-	-	-	-
臨床検査科	1	1	-	-	-	-
救急科	4	3	1	-	1	△ 1
歯科	5	5	-	7	6	1
矯正歯科	-	-	-	-	-	-
小児歯科	-	-	-	-	-	-
歯科口腔外科	12	12	-	-	-	-

4 利用状況

令和5年の1日平均在院患者数は7,408人であり、前年から89人減少した。うち、精神科病院は37人減少し、一般病院は53人減少した。1日平均新入院患者は284人であり、前年から5人増加した。一日平均退院患者数は284人で、前年から5人増加した。1日平均外来患者数は6,846人で、前年より117人減少した。(表3-6)

表3-6 病院・病床の種類別にみた1日平均在院・新入院・退院・外来患者数

	1日平均在院患者数			1日平均新入院患者数		
	令和5年	令和4年	増減数	令和5年	令和4年	増減数
病院総数	7,408	7,497	△ 89	284	279	5
精神科病院	1,525	1,562	△ 37	5	5	-
一般病院	5,883	5,936	△ 53	279	274	5
病床総数	7,408	7,497	△ 89	284	279	5
精神病床	1,749	1,808	△ 59	7	7	-
感染症病床	23	66	△ 43	2	9	△ 7
結核病床	2	5	△ 3	-	-	-
療養病床	1,448	1,495	△ 47	10	9	1
一般病床	4,185	4,123	62	266	254	12

	1日平均退院患者数			1日平均外来患者数		
	令和5年	令和4年	増減数	令和5年	令和4年	増減数
病院総数	284	279	5	6,846	6,963	△ 117
精神科病院	5	5	-	439	430	9
一般病院	279	274	5	6,407	6,533	△ 126
病床総数	284	279	5	•	•	•
精神病床	7	7	-	•	•	•
感染症病床	2	8	△ 6	•	•	•
結核病床	-	-	-	•	•	•
療養病床	13	13	-	•	•	•
一般病床	262	251	11	•	•	•

注：端数処理のため、総数と内訳の集計数値が一致しない場合がある。

令和5年の病院の病床利用率は、総数が76.5%、精神病床が78.4%、療養病床が83.6%、一般病床が73.7%、結核病床が20.4%であり、感染症病床が76.9%で前年より大幅に減少した。
(図3-5)

図3-5 病床の種類別にみた病院病床利用率の年次推移

